

第53回 佐保川清掃が実施されました

5月20日(日)第53回佐保川清掃(主催:佐保川清掃対策委員会)が実施されました。自治連合会を中心に様々な団体から千名を超える参加者があり、子どもからお年寄りまで「地域の誇りである佐保川をきれいに」と、清掃活動に励みました。

佐保川清掃は、地域の有志により昭和35年から始められた半世紀を超えるスゴイ取り組みです。当初は400名程度の参加だったそうです。当時の佐保川はまさにドブ川のように、冷蔵庫、洗濯機、自転車等が捨てられゴミ捨て場同然の有り様だったそうです。(当時はBOD20mg/L以上ありました。)そのような中、地域の財産であり万葉集にも詠われた歴史ある佐保川に清流を取り戻そうと活動は続けられ、今では親水施設に子ども達が集い、素晴らしい桜並木に代表される地域に愛される川となり、水質も最上ランク(BOD1mg/L以下)に改善されています。当時の人々が、京都の鴨川の美しさに歴史の重みを感じたのが、1つのキッカケとなったそうです。

～開会式です～ 地域の小・中学校長をはじめ多くの来賓の方々が参加されました。谷口会長の挨拶に始まり、奈良県、奈良市から祝辞が述べられました。



谷口会長
万葉集にも詠まれる佐保川
を次の世代にと



大庭奈良県土木部長
佐保川は「記紀万葉プロジェクト」にも相応しい河川
大切に



吉住奈良市環境清美部長
佐保川での取り組みに深く
感謝



多くの来賓の方々



作業内容を説明する覧事務局長

～多くの方が参加されました～



若者も参加します



若いノボリはシルバー人材センターの皆さま

～さあ、清掃開始です～



子どもたちもがんばります



子どもからお年寄りまで地域で参加します

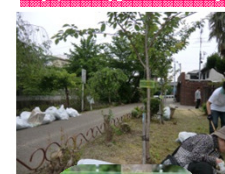
長年の取り組みにより佐保川は、地域の宝として根付いています。ゴミは少なく、作業は草刈り主体です。

さまざまな工夫がなされています



草刈り主体の作業となるため今年は多くのカマの貸し出しがありました

第50回記念植樹の桜
大きく育っています



～地域の宝 佐保川～

多くの万葉歌に詠まれ、平城京の時代には「西の堀河」ともよばれた佐保川

～きれいになりました～



2012年5月21日
奈良新聞
奈良新聞社に無断で掲載することを禁止します。

ごくろうさまでした。